

# 中学校学習活動案 「ヒョウタンの不思議」～栽培から加工まで～

対象学年	中学 1 年	総時数	70 時間	週時程年間固定型	週 2 時間の実施
------	--------	-----	-------	----------	-----------

この学習活動案は、生徒の興味・関心に基づく教育活動に取り組むことを目指した活動案です。ヒョウタンの栽培、加工、利用法について体験的に学習することで、歴史や文化、先人の知恵に学び、郷土を大切にしようとする気持ちや豊かな心を育てます。

## 1 年間計画 (合計70時間)

学期	1 学 期				2 学 期				3 学 期		
月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学 習 活 動	ヒョウタンを知ろう・たねまきをしよう	畑の準備・苗を植え付けよう	開化・結実・果実・生長を観察しよう しっかりと世話をしよう		収穫をしよう・観察結果を発表しよう	仕上げと加工をしよう ヒョウタンの形を楽しもう		世界のヒョウタンを調べよう ヒョウタンの利用法を研究しよう	ヒョウタンを使って道具をしよう	発表会の準備をしよう ヒョウタン祭り・発表会	
時数	4	8	14		8	10		10	8	8	

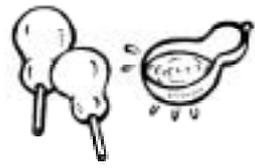
体験学習 外部講師の招へい (ヒョウタンづくりに詳しい方)

## 2 ねらい

- (1) 自分たちの生活に目を向け、課題を持ち、追究活動 (見る・聞く・調べる) を行う力を育てます。
- (2) 学習で得たことを効果的に表現し、人に伝える力を育てます。
- (3) 外部講師の方々から人間としての生き方や在り方を学び、自分の生き方について考える力を養います。

## 3 教科との関連

国語〔第1学年〕	話すこと・聞くこと
社会〔地理的分野〕	地域の規模に応じた調査
理科〔第2分野〕	植物の生活と種類
美術、音楽〔第1学年〕	表現・鑑賞
技術・家庭科〔技術分野〕	技術とものづくり



## 4 実施上の留意点

- (1) 本活動では、5～6人のグループ学習を想定しています。
- (2) 種まき・畑の準備・苗の定植・雑草取り・害虫駆除・整枝・誘引・棚づくり・収穫・仕上げ・加工・利用までの行程において、体験的な学習や問題解決学習を成り立たせるためには、地域や生徒の実態に応じたスキルをあらかじめ用意しておく必要があります。

5 展開

	主 な 活 動	留 意 点 等
1 学 期	<p>(1) <b>事前学習・栽培品種の決定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒョウタンの栽培方法についての学習</li> <li>・グループごとに栽培品種を決め、たねまきを行う。</li> <li>・育苗期間中の水やり、温度管理等の方法を工夫する。</li> </ul>	<p>ヒョウタンを栽培し、加工、利用まで行う行程で、各自が課題をもって取り組む学習活動であることを理解させる。</p>
2 学 期	<p>(2) <b>外部講師による実技講習会1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師に指導していただく内容を整理する。</li> <li>・実技講習会の企画運営を行う。</li> <li>・栽培マニュアルを作成する。</li> </ul> <p>(3) <b>栽培管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な栽培管理を行う。</li> <li>・成長過程の観察、記録を行う。</li> </ul> <p>成長が進む夏季休業中の栽培管理の方法を工夫する。</p> <p>(4) <b>発表会1</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察記録をとりまとめ発表する。</li> <li>・収穫したヒョウタンの品評会を行う。</li> </ul> <p>(5) <b>外部講師による実技講習会2</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師よりヒョウタンの仕上げと加工の方法について指導していただく。</li> <li>・郷土に古くから伝わる加工方法、利用法を紹介していただく。</li> </ul>	<p>ヒョウタンの栽培に詳しい方を講師に招いて、畑の準備、苗の植付、整枝、誘引、棚つくりの方法等の御指導をいただく。成長の過程を観察し、記録することの大切さを理解させる。</p> <p>理科〔第2分野〕との関連に留意する。</p> <p>発表会を実施することでプレゼンテーションの方法について学ばせる。</p> <p>ヒョウタンの仕上げや加工の技術には、先人の知恵に学ぶべき点が数多くあることを理解させる。</p>
3 学 期	<p>(6) <b>調べ学習(ヒョウタンの利用方法を考える)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内、世界各地のヒョウタンの利用方法やヒョウタンにまつわる民話や言い伝えについて調べる。</li> <li>・収穫したヒョウタンの利用方法を、調べ学習をもとに決める。</li> </ul> <p>(7) <b>ヒョウタンを使った道具づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習の成果をもとに、ヒョウタンの加工を行う。</li> </ul> <p>(8) <b>ヒョウタン祭り(発表会)の準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習をまとめ、制作した道具を使った自己表現を行う準備をする。</li> </ul> <p>(9) <b>ヒョウタン祭り(発表会2)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御指導いただいた講師の方々、地域や保護者の方々をお招きして、1年間の学習の成果を発表する。</li> <li>・自分たちの体験で得られたことや、感じたことを発表する。</li> </ul>	<p>ヒョウタンには様々な利用方法があり、伝統的な利用法の他に工業製品の重要な素材として現在も利用されていることを学ばせる。</p> <p>社会〔地理的分野〕との関連に留意する。</p> <p>技術・家庭科との関連に留意する。</p> <p>国語、美術、音楽との関連に留意する。</p> <p>学習の成果に対する自己評価をさせる。他者の発表に対する相互評価を行う。新たな課題について考えさせる。</p>

## 6 ヒョウタンの栽培と利用

### (1) ヒョウタンのプロフィール

学名：Lagenaria siceraria Standl. var depressa Hara

和名：ヒョウタン（瓢箪）：ウリ科

英名：Bottle Gourd (Hard shell type)

原産地：アフリカ～熱帯アジア（アフリカ説が有力といわれています）。

栽培の歴史：日本へは、約6千年前、シルクロードから中国、朝鮮半島を経て縄文時代初期に渡来しました。



### (2) 栽培暦

時 期	1 学 期									夏休み			2 学 期																	
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
作業区分	たねまき			植えつけ			雑草・病虫害防除									収穫														
ヒョウタンの一生	たねまき			発芽			育苗			植付け			摘み			受粉			摘果			収穫			仕上げ			加工		

### (3) 学習活動をすすめるヒントマップ

